

# 2024年度 日本乳幼児教育・保育者養成学会第5回研究大会 開催案内

## 大会テーマ「保育の魅力と質を高める養成の在り方」

本学会の研究大会は、この12月に第5回をリモートで開催することになりました。

本学会は乳幼児教育・保育に携わる保育者の方々の養成と研修の質を高めるべく、広く養成課程に関わる教員やまたそこと連動する研修を行う方々、さらにそこに参加していく保育者の方々の意見を集めて交流し、そこでの実践研究を発表し、知見を共有していくことを目指しています。その基礎的な検討と共に、現今の幼児教育・保育の施設(幼稚園・保育所・認定こども園等)とその保育者の養成を巡る政策課題を検討しています。

国としては、こども家庭庁が発足して2年目を向かえ、乳幼児の育ちを幼児教育・保育施設とさらに広く子育て支援の量的拡大と質的向上を目指し、多額の予算が投入されるようになりました。連動して文部科学省では幼保小の架け橋プログラムの展開が進んできています。さらに、広く三要領・指針の改訂を視野に置いての議論も始まり

ます。それに対して社会において多くの課題が山積し、新たな課題が生まれてきています。何より少子化の進行により幼保の統廃合が全国的に始まっています。だからこそ一人一人の子どもを丁寧に保育し、その質を高めていく必要があるのは明らかです。その一方、保育者の不足は続いており、養成校への期待も大きいものがありますが、保育者を志望する学生が減少してきており、そこでの対処は緊急の課題です。保育者の処遇改善が進み、働き方改革もかなり広がってきていることが受験する側の高校や保護者さらにマスメディアにその改善の様子が伝わっているとは言いがたいところがあります。あるいはまた特別支援を要する幼児も増加してきており、そこへの保育での対応もますます重要になってきました。

そういった課題を論じるために、今大会の企画を考え、講演・対談・シンポジウムと工夫を凝らしています。是非多くの方に積極的に参加していただくこと、さらに発表を会員の方々にお願いしたいと思います。

理事長 無藤 隆

2024年12月15日(日)に「日本乳幼児教育・保育者養成学会第5回研究大会」を開催いたします。大会テーマは「保育の魅力と質を高める養成の在り方」です。

こども家庭庁が発足し2年目、「こどもまんなか社会」を目指して様々な取り組みが行われています。子どもたちの健やかな成長のために豊かな保育の提供は欠かすことができませんが、一方で保育者を目指す学生の減少という状況も見られます。日本の乳幼児教育の担い手を、どのように獲得し、どのように育てていくかは、大きな課題です。本テーマのもと学び合う大会となるよう準備を進めています。大会HPを開設し、学会ウェブサイト、会員宛メール等でも随時告知しております。皆様どうぞご参加ください。

第5回研究大会実行委員長 宮里 暁美

# 2024年12月15日(日)

オンライン及びオンデマンド開催  
10:00~16:00

**開会式** 10:00~10:20

理事長挨拶/大会実行委員長挨拶/来賓挨拶/本学会概要・研究部会紹介)

**記念講演** 10:20~11:10

テーマ「幼児教育・保育の役割とその期待」  
前田 幸宣 氏(文部科学省 初等中等教育局幼児教育課 課長)

**論説** 11:10~11:50

テーマ「保育の魅力と質を高める養成の在り方」  
無藤 隆 氏(白梅学園大学名誉教授)

**対談** 12:00~12:50

テーマ「保育の魅力をも高める保育者養成の取組と展望」  
佐々木 晃 氏(鳴門教育大学教授)× 無藤 隆 氏(白梅学園大学名誉教授)  
進行(趣旨説明) 砂上 史子 氏(千葉大学教授)

**大会実行委員会企画シンポジウム** 13:30~14:50

- シンポジウム1~認定こども園カリキュラム検討部会 テーマ「認定こども園における園運営の在り方」  
話題提供: 安達 謙 氏(認定こども園せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園園長)  
宮里 暁美 氏(お茶の水女子大学教授)  
指定討論: 矢藤 誠慈郎 氏(和洋女子大学教授)  
進行(趣旨説明): 中田 範子 氏(東京家政学院大学教授)
- シンポジウム2~実践研究検討部会 テーマ「実践と研究の狭間の再考~『保育を観る』ことから~」  
話題提供: 駒 久美子 氏(千葉大学准教授) / 中野 圭祐 氏(國學院大学助教)  
指定討論: 松井 剛太 氏(香川大学准教授)  
趣旨説明: 中橋 美穂 氏(大阪教育大学教授)  
進行: 箕輪 潤子 氏(武蔵野大学教授)

**研究発表** 15:00~16:00

※プログラムは一部変更となる可能性もあります。

## ■大会参加費

会員 7,000円 / 非会員 8,000円

(保育教諭養成課程研究会会員の方で本学会に入会されていない方は、「非会員」扱いとなります。)

支払いは、大会ホームページ上で行き、クレジットカード決済のみです。

※学会入会希望の方は本学会のホームページ <http://ecectet.jp/> からご入会ください。

## ■研究発表登録料

今年度より研究発表には、研究発表登録料(筆頭者のみ) 1件につき 2000円がかかります。

支払いは、大会ホームページ上で行き、クレジットカード決済のみです。

## ■大会参加申込手続き

大会ホームページの「大会参加登録」から大会参加申込、研究発表申込を行います。

大会参加申込と大会参加費納入の期間については、下記申込手続き期間にご注意ください。

大会ホームページ <https://ecectet.info/2024/>



## ■大会参加・研究発表申込手続き・期間

	手続き	期間
大会参加	大会参加申込	8月1日(木)～大会当日
	大会参加費納入	8月1日(木)～大会当日
研究発表	研究発表(題目・要旨200～400字)申込	8月1日(木)～10月15日(火)
	研究発表登録料納入(今年度より)	8月1日(木)～10月15日(火)
	研究発表資料提出 PPT10枚程度をPDF化したもの	10月10日(木)～10月31日(木) ※期間厳守
	研究発表資料掲載期間 (掲載期間に誤りがありました)	(誤)12月1日(日)～12月18日(水) (正)12月7日(土)～12月18日(水)
	研究発表	12月15日(日)15:00～16:00 ※座長在籍時間内の発表者によるコメントの返答をもって「出席」といたします。

※詳細につきましては、後日学会及び大会ホームページ等でお知らせいたします。

## 大会・研究発表に関するお問い合わせ

日本乳幼児教育・保育者養成学会第5回研究大会実行委員会

東武トップツアーズ株式会社 MCC大阪事業部内

[hoyouken@tobutoptours.co.jp](mailto:hoyouken@tobutoptours.co.jp) (8月1日(木)から対応)



## ■研究発表申し込み手続き

- 研究発表は、大会当日ページに発表資料を公開するオンデマンド型で、在席時間中(15:00~16:00)にコメント投稿欄を用いて行います。
- 研究発表の要件は、筆頭者・共著者ともに会員であること、今年度年会費及び大会参加費(発表者全員)・研究発表登録料(筆頭者のみ)を**10月15日(火)(延長になりました)**までに納入済であることです。
- 筆頭者としての発表は、一人当たり2件までとします。筆頭者以外の制限はありません。
- 研究大会までの手続きは以下の順となります。研究発表申込の際には、発表者全員の今年度年会費納入状況をご確認の上、未払いのある場合は、**10月15日(火)**までに納入してください。

### ▶手順1. 大会参加申込 8月1日(木)~10月15日(火)

- 大会ホームページの「大会参加登録」のページから、大会参加申込をしてください。

### ▶手順2. 大会参加費・研究発表登録料納入 8月1日(木)~10月15日(火)

- 研究発表に参加される方は、マイページのメニューの「①研究発表登録予約」から発表件数を予約をして頂き、「②支払」からお支払をお願いします。その後、「③研究発表申込」から、本登録をしてください。

### ▶手順3. 研究発表申込 8月1日(木)~10月15日(火)

- 研究題目、要旨を投稿し、発表区分を選択することをもって「研究発表申込」となります。
- 大会ホームページの「大会参加登録」ページに、(1)研究題目と要旨を入力し、(2)発表区分を選択してください。

#### (1)研究発表の題目と要旨の執筆要項

- ①発表者の所属先は、学校名及び施設・園名・所属団体名のみ表記する。例)「〇〇大学」「〇〇園」
- ②題目と要旨は、英数字をすべて半角で記載する。
- ③要旨の字数は200字~400字とする。

※研究発表申込期間中は、入力内容の変更は可能ですが、申込期間を過ぎてから変更はできません。発表者の掲載順の変更についても同様です。上記①~③につきましては、執筆要項に合っていない場合、大会運営委員会で修正させていただきますのでご了承ください。執筆要項に合っていない場合、入力できないことがあります。

#### (2)研究発表区分の選択

以下のa~qより、該当する発表区分を3つ選択してください。お選びいただいた発表区分を参考に、担当者が発表グループを作成いたします。

- |                       |                                |
|-----------------------|--------------------------------|
| a. 保育者の研修制度、処遇改善      | j. 保育の質                        |
| b. 保こ幼小の連携、地域連携、子育て支援 | k. ドキュメンテーションやポートフォリオなど保育の記録方法 |
| c. 海外の保育方法・保育の国際比較    | l. インクルーシブ保育、特別支援教育            |
| d. 施設の安全・危機管理体制       | m. ICTの活用                      |
| e. 5領域、乳児保育、食育        | n. 実習日誌や実習指導など養成校での授業実践        |
| f. 保育思想、保育理論、保育史      | o. 保育者養成校の学生指導                 |
| g. 幼児理解、発達関連          | p. 養護的側面から見た保育実践・保育者研修         |
| h. 保育環境(園庭を含む)、保育教材   | q. 子どもの権利と人権                   |
| i. 保育者の資質向上           |                                |

### ▶手順4. 研究発表資料提出(アップロード) 10月10日(木)~10月31日(木) ※期間厳守

#### (1)提出方法

- 大会ホームページの「大会参加登録」ページに添付して登録してください。

#### (2)研究発表資料の執筆要項

- ①PowerPointのスライドを10枚程度(最大15枚以内・題目を含む)にまとめてPDF化する。  
※1ページ1枚のスライドとしてください。  
※研究発表資料のPDFファイルのファイル名を “筆頭者名「タイトルー副題ー」”の順にしてください。  
例えば、1回めの修正提出の場合以下の通りとなります。  
例:大会花子「〇〇の環境 (1) —認定こども園A園の取り組みから—」修正1.pdf
- ②1枚目は表紙とし、研究発表申込時に入力した、題目、発表者、発表者の所属を書く。
- ③大会ホームページ上に公開後、ダウンロードや印刷が可能となります。
- ④研究発表資料の著作権は、発表者にあります。